

前略

私は11月15日から18日まで、日本美術会(アンデパンダン展などを主催)の主催する沖縄写生旅行に行って来ました。総勢50名余り。長年、美術に腕を磨いてきた人達が多かったのですが、おかげで色々指導を受けることが出来、大変楽しい旅行とすることができました。勿論、私同様に、初心者もいましたが・・・。

そこで描いた絵の一つをここに紹介します。未だ、これからも手を入れなくてはならないところがいくつかあるのですが、速報として下の絵を紹介します。

これは、自民党政権時代に日米合意された普天間基地の移転先の辺野古です。

遠景に見えるように辺野古の地はとてものどかな雰囲気のところ。リゾート施設に最適と思いました。思わず、そちらに行きたくなりますが、その手前には鉄条網が張り巡らされています。その鉄条網に「基地移転反対」の心を込めて横断幕を貼り付けたり、ハンカチを結びつけたりしてありました。

沖縄の辺野古移転賛成派は「新たな基地建設で土建の仕事が出来て経済が潤う」と思っているようですが、この米軍基地を無くし、この美しい岬を中心にリゾート施設を作り、国民のリゾート利用を促進する政策(欧米のように4週間のバカンスを当たり前にする事)を執れば、雇用も増え、自然も守ることが出来て、一石二鳥と思いました。

のどかな岬とそれが米軍基地として鉄条網に囲まれている、辺野古に行ったら、その矛盾を描きたいと思っていましたが、いかがでしょうか？

今回は天候が安定せず、下の絵を描いている最中にも何度かにわか雨に見舞われ、慌てて傘を差したり、スケッチブックの上の雨滴を拭いながらの写生となりました。

2009.11.20 山下 徹

